

2022年度　日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築演習 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	4
担当教員	大澤　公仁			実務 経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
構造設計事務所にて海外での建設現場における構造設計を担当し、その後は不動産会社において住宅の設計・改修工事に従事した経験を持つ。伝統工法を用いた住宅設計を専門としている。											
授業概要											
この授業では、就職・進路に対する意識を高めること。コミュニケーション能力を身につけ就活に対するスキルを高めることを目指す。そのために、現在の建築業界の状況を理解し、団体行動をとることにより社会のマナーを身につけ、コミュニケーション能力を高めルことを目指す。											
到達目標											
この科目では、学生が日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
レポート 出席状況 平常点	70% 20% 10%	業内容の理解度を確認するために実施する 時間を守り授業の取り組み度合いを評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。就活においては、自分でも情報を収集し考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。											
教科書教材											
「就活ドリル　はじめての一般常識」／必要に応じ資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	学生と社会人の違いを認識する　社会が必要としているスキルを理解し学校で学ぶ意味を理解する										
第2回	働く意味について考える　仕事や働き方を選ぶ基準について理解する										
第3回	職種について考える　幅広い職種を理解し、分析する										
第4回	なりたい自分をイメージする　自分の現在の目標を確認する										
第5回	研修　宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築演習 1	
第6回	研修 宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける
第7回	研修 宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける
第8回	研修 宿泊をすることで団体行動の大切さやコミュニケーション能力を身につける
第9回	建築見学会 建築物を見学しスケッチして建築に触れる
第10回	就職試験対策 就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む
第11回	就職試験対策 就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む
第12回	就職試験対策 就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む
第13回	就職試験対策 就活ドリルを用いて就職試験対策に取り組む
第14回	建築見学会 有名建築物を見学し建築の楽しさを理解する
第15回	選抜講評会 設計製図の作品成果発表会を聴講し他学生の作品を理解する